

環境経営の意思決定支援や 環境配慮設計を推進する情報システムです。

「環境経営情報システム」は、環境経営の進捗を把握・推進するためのシステムで、環境負荷を集計する「環境負荷情報システム」と、環境コスト・効果を集計する「環境会計システム」で構成されています。収集した情報を加工・解析することにより、事業活動全体の統合環境影響の把握*1をはじめ、環境行動計画*2の策定、環境経営の意思決定支援、環境配慮設計の推進、部門別の改善活動、コーポレート環境会計*3の集計や社会への情報開示に役立っています。

*1: 59ページ *2: 17ページ *3: 61ページ

環境負荷情報システム

調達、設計、製造、輸送・販売、使用、保守・サービス、回収・リサイクルの各事業工程、および事業全体の環境負荷を把握・集計するシステムです。事業全体の環境負荷をとらえるのはもちろん、各事業工程における業務フローの中から環境データを自動的に収集し、それぞれの環境改善活動のPDCAにも活用しています。データ分析や改善活動により活用しやすいシステムの構築を押し進めるとともに、収集データの項目や範囲拡大、精度向上に取り組んでいます。2008年度は、輸送工程のCO₂排出量*1をグローバルで把握するシステムの構築、およびREACH規則*2対応のシステムの構築を完了しました。

*1: 50ページ *2: 28, 29, 30ページ

環境会計システム

環境負荷情報システムの環境保全効果データと、会計システムの環境コストデータを集計し、環境経営指標*などに加工することにより、「コーポレート環境会計」をタイムリーに把握するシステムです。

*: 5, 6ページ

環境経営情報システム

環境負荷情報システム

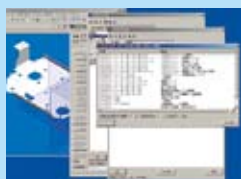
調
達



環境行動計画や法規制情報と連動し、グリーン調達を推進するためのシステムです。仕入先企業とのネットワークを活用し、原材料や部品の質量・構成素材・含有化学物質などの情報を収集しています。



設
計



環境配慮設計を推進するために、環境面・コスト面から最適な材料や部品を選定するシステムです。調達管理システムや化学物質管理システムと、設計のCADシステムが連動しています。



製
造



事業活動の環境負荷を把握するためのシステムです。生産事業所はもちろん、本社オフィスなど非生産事業所を含む全事業所の電気使用量・化学物質使用量・CO₂排出量・廃棄物排出量などを収集しています。



輸
送
・
販
売



物流拠点・輸送工程・販売拠点での環境負荷を削減するために、電気使用量・ガソリン使用量・廃棄物発生量などを収集するシステムです。収集したデータは、各拠点でのEMSのPDCAにも活用されます。



使
用



製品別の環境性能(消費電力・両面生産性・リサイクル対応設計のレベルなど)を共有し、環境配慮設計やカタログでの情報開示などに活用するためのシステムです。設計データをもとに製品別の環境負荷情報を集計しています。



保
守
・
サ
ー
ビ
ス



製品メンテナンス時の環境負荷を把握・分析するためのシステムです。製品の保守履歴データベースおよび保守拠点でのガソリンや電気使用量を集計するデータベースをもとに関連情報を収集しています。

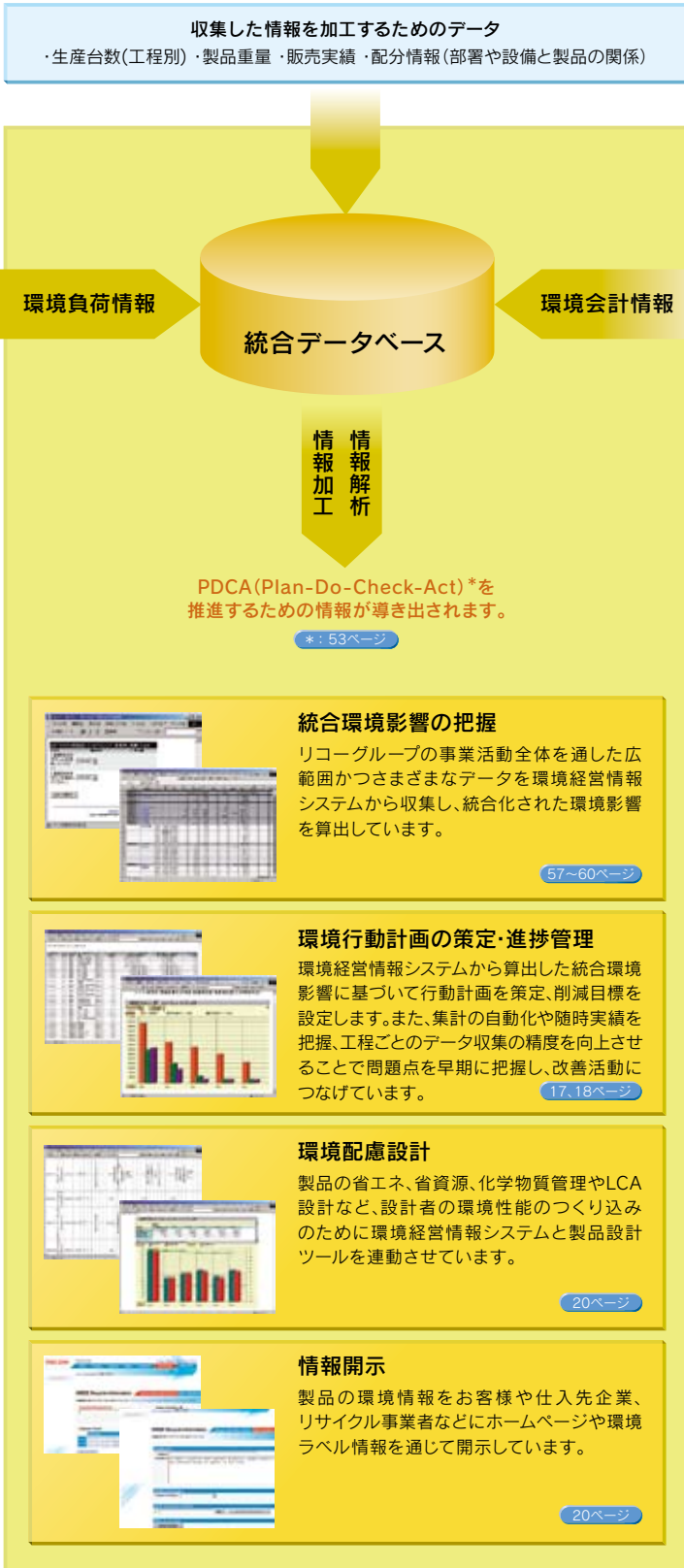


回
収
・
リ
サ
イ
ク
ル



製品設計時のリサイクルプランを回収製品のリユース・リサイクルに活用するための情報インフラや、再資源化処理の詳細を把握するシステムを展開しています。






環境会計システム

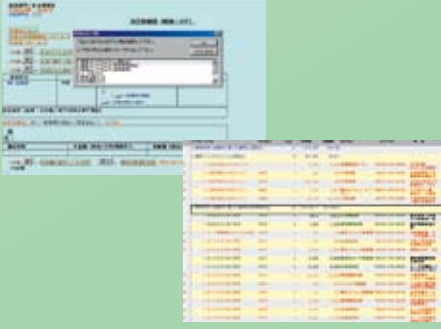
会計システム

環境保全コストを把握するために、会計システムに環境会計コード入力欄を設け、日次集計される会計情報から環境保全コストを抽出しています。

環境経費



環境設備投資



環境会計集計データベース

環境保全活動による経済効果、およびグループ会社の環境保全コスト・経済効果を、四半期または半年ごとに環境会計集計データベースに入力し、集計しています。

環境会計集計DB
Environmental Accounting Database

